

高校生のための面接練習 (就職編)

1 「面接練習」の意義

- ・高校生が面接練習に取り組む意義は、就職試験や公務員試験に合格するためだけではありません。
- ・自分の将来についてじっくりと考えたり、自分の長所や短所を見つめ直したりするなど、「自分自身を振り返る」大切な機会となるところにあります。
- ・試験がはじまる9月に向けて不安も多いと思いますが、早めに準備をすることで自信を持って試験に臨むことができるように頑張りましょう。

2 「面接試験」の内容

「面接試験」で聞かれることを大別すると、

- ①志望動機
 - ②高校時代のこと
 - ③採用後の抱負
 - ④自己分析
 - ⑤社会適応力
 - ⑥社会への関心
 - ⑦その他（面接時の態度など）
- となります。

3 「面接」のポイント ①志望動機

- ・「面接試験」において最も大切な項目が、この「①志望動機」です。
- ・まず最初に聞かれることが多いので、しっかりとと言えるように1分程度にまとめておきましょう。そして「なぜ本社を志願したのか」「なぜこの職種を希望するのか」など、詳しく質問されることも予想されます。
- ・志願した会社や行政機関等が「どのような社会人を求めているのか」を「求人票」「会社案内」「公務員試験案内」「HP」で充分理解したうえで対策しておくことが必要です。

3 「面接」のポイント ①志望動機

【プラスポイント】

- ・自分は将来どんなことをしたいのかが明確である。
- ・「自分のどのようところがその仕事に向いているのか」を、はっきりと答えられる。
- ・「社会人として自覚ある行動ができる」ことを面接官にしっかりと伝えられる。
- ・インターンシップや会社訪問に参加したことがある場合、具体的に良かったところを詳しく述べることができる。

3 「面接」のポイント ①志望動機

【マイナスポイント】

- ・「先生や保護者、先輩に勧められたから」だけでは十分な志望動機であるとは言えません。そこから自分でどのように意志決定したのかを述べましょう。
- ・単に「小学生の時から憧れていたから」ではなく、「どのようにして憧れるようになったのか」までしっかりと説明しよう。
- ・校内成績や公務員模試での「合格判定」だけを理由とした表現では、説得力がありません。

3 「面接」のポイント ②高校時代のこと

- ・「②高校時代のこと」は、言い換えると「高校時代に何を頑張ってきたか」ということです。
- ・まず自分の出身高校の説明は簡潔にしましょう。「創立年数、県外受験の場合は所在地、進学希望者の割合、校風・校訓、学校の雰囲気」などです。
- ・ほとんどの受験生は「勉強」「学校行事」「部活動」を挙げます。ただ「頑張りました」と繰り返すだけでは、説得力がありません。できるだけ具体的に答えましょう。

3 「面接」のポイント ②高校時代のこと

【プラスポイント】

・「勉強面では、授業で解らなかつたところはその日のうちに～」、「体育祭では、過去最高の学校行事とするために半年前から～」、「部活動では、部員全員で全国大会出場を目指して～」、のように具体的に考えましょう。

【マイナスポイント】

・「他校の生徒でもその位のことにはやっているのでは・・・」と面接官に思われないうように、自分なりの答えを練りましょう。

3 「面接」のポイント ③採用後の抱負

- ・「③採用後の抱負」では、もし合格したら「どんなことを頑張りたいか」「何に挑戦したいか」など、明確で力強く言えるように自分の考えをまとめておくことが大切です。
- ・高校時代に自分が頑張ってきたことを根拠に、就職先での抱負を述べると良いでしょう。
- ・「求人票」の待遇面だけではなく、企業や行政機関が目指そうとしているものを「会社案内」「公務員試験案内」「HP」でよく読んでおきましょう。

3 「面接」のポイント ③採用後の抱負

【プラスポイント】

・「高校時代に1日も休まずに登校したので、会社でも意欲的に働きたい」「高校時代にキャプテンをしていたので、リーダーシップを発揮できるように頑張りたい」など高校時代の頑張りを継続することは高評価です。

【マイナスポイント】

・「与えられた仕事だけをすればいい」といった消極的な発言や、協調性のない発言はマイナス評価です。

3 「面接」のポイント ④自己分析

- ・「④自己分析」では、「自分の長所や短所」「自分の性格」「常に心がけていること」などが聞かれます。
- ・自分自身を客観的に分析することは、自分が成長していくうえでとても大切なことです。これから「長所」をどのように伸ばし、「短所」をどのようにして克服していくか、具体的に考えてみてください。
- ・「自己PR」を求められることもよくあります。1分間・2分間・3分間など、様々なパターンを準備しておきましょう。時間が余らないように練習しておくことが大切です。

3 「面接」のポイント ④自己分析

【プラスポイント】

- ・例えば、自分の不得意教科を聞かれた場合、「どのように勉強して苦手意識を無くそうと努力してきたか」まで述べるのが大切です。
- ・同様に、自分の短所を聞かれても「私はいつも～するように心がけています」と繋げるとプラスポイントに。

【マイナスポイント】

- ・短所を数多く挙げる必要はありません。また短所が何もないでは自己分析力不足と受け取られてしまいます。

3 「面接」のポイント ⑤社会適応力

- ・「⑤社会適応力」とは、主に「職場での人間関係をうまく構築できるか」「仕事上のストレスをうまく発散できるか」などの社会人としての適応力に関する項目です。
- ・そのために「面接試験」を集団形式や討論形式で行ったりすることがあります。自分の意見を簡潔に述べるだけでなく、他人の意見を傾聴する姿勢が大切です。
- ・現代の多くの職場は「チーム」で仕事をするが増えています。「一人で仕事を抱え込まないようにするにはどうすれば良いか」などの質問が想定されます。

3 「面接」のポイント ⑥社会への関心

- ・「⑥社会への関心」は、主に時事問題をさします。
- ・「最近のニュースで最も関心を持ったことは何ですか」というタイプの質問には、自分の知識が十分なものを取りあげられるように事前準備しておきます。
- ・「環境問題に関する最近のニュースで最も関心を持ったことは何ですか」というタイプの質問には、ここ半年間～1年間のニュースから取りあげられるように事前準備しておきます。テーマごとに新聞記事やネットニュースをまとめるなどしてノートづくりをするとよいでしょう。

3 「面接」のポイント ⑦その他

- ・面接試験では「面接時の態度」も重要な評価項目です。
- ・実際の試験では緊張することが多いので、普段から以下のことに気を付けて高校生活を送りましょう。
- 挨拶（明るく元気に）、言葉遣い（正しい敬語を使う）
- 姿勢（座った時の手の位置・足の向きにも注意）
- 態度（やる気・情熱が相手に伝わるように）
- 表情（笑顔で聴く力・目線は相手の喉元あたり）
- 服装（清潔で端正に・着崩さない）

4 最後に

【一般就職を考えている人へ】

- ・近年、高卒者の約4割が、卒業後3年以内で離職しており、全国のフリーター数は約155万人にもなります。
- ・非正規雇用に就いた理由として「正規の職員・従業員の仕事がないから」と回答する不本意非正規の割合も、他の年齢に比べて若年層で高くなっています。
- ・正規雇用となり、仕事を長く続けるためにも、高卒時のミスマッチを防ぎましょう。自分の適性にあった職業選択になるように、早めに準備して慎重に決めていきましょう。

4 最後に

【公務員試験の受験を考えている人へ】

- ・多くの職種で「教養試験」「適性試験」「面接試験」「作文試験」が実施されます。
- ・そのうち「面接試験」は2次試験で実施されることが多く、合否の大きな鍵を握っています。せつかく1次試験を突破しても、2次で不合格とならないように、できるだけ早い時期から面接対策をしておきましょう。(最初から1次試験に合格するつもりで準備をしておきましょう)

4 最後に

・面接試験では、受験生の資質・能力に関係しないことを面接官は聞いてはならないこととなっています。以下のような「違反質問」をされた場合には、「学校の指導で答えられません」とはっきりと言いましょ。また、そのような場合には、学校の先生に報告してください。

- ・本籍、住所に関する質問
- ・家族構成や職業・地位・収入・資産に関する質問
- ・思想・信条、宗教、尊敬人物、支持政党に関する質問
- ・男女差別につながる質問